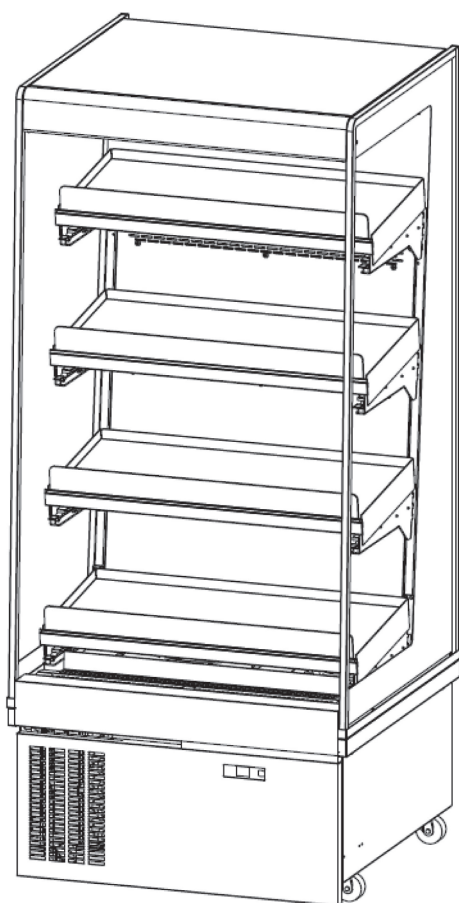


mitsubishi

三菱エア・カーテンタイプクーラ（冷凍機内蔵形）コカ・コーラ向け

BC-AF2014RE
BC-AF2514RE
BC-AF3014RE
(ノンフロン) 業務用

取扱説明書



もくじ

ページ

ご使用の前に

- ・安全のために必ず守ること ……2
- ・据え付け ……5
- ・各部のなまえとはたらき ……6

ご使用方法

- 1. 冷却運転を開始する ……8
- 2. 冷却運転を停止する ……8
- 3. 庫内温度設定について ……8
- 4. 除霜運転について ……8
- 5. 陳列棚（スライド式）について ……9
- 6. ホット・コールドを切り替える ……10
- 7. 商品を入れる ……12
- 8. 照明を点灯・消灯する ……13
- 9. ナイトカバーについて ……13
- 10. ドレン水強制蒸発装置 ……13

お手入れ

- 1. お手入れの前に ……14
- 2. お手入れのしかた
 - 1) 外装・庫内・ガラス ……14
 - 2) 陳列棚 ……14
 - 3) フィルター ……15
 - 4) 蒸発板 ……15
 - 5) 電源プラグ ……16
 - 6) 吹出ハニカム ……16
- 3. 点検のしかた
 - 1) 漏電しゃ断器の点検 ……16
- 4. 長期ご使用にならない場合 ……16

- ・故障かな？と思ったら ……17
- ・アフターサービス ……19
- ・仕様 ……20



- ・ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・「取扱説明書」は大切に保管してください。
- ・添付別紙の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- ・お客様自身では据え付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）
- ・お使いの製品を譲渡されたり貸与される場合には、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

お取扱い代理店の方へ

クーラーをお客様へ引き渡しされる前に、必ず取扱説明書にて「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお客様（お使いになる方）にご説明ください。

安全のために必ず守ること

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂くことを説明しています。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、 死亡や重傷に結びつく 可能性のあるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、 軽傷または家屋・家財など の損害に結びつくもの
---	---	---	---

- 図記号の意味は次のとおりです。

 禁止	 接触禁止	 分解禁止	 水ぬれ禁止
 指示を 守る	 アース接続	 電源プラグを 抜く	 ぬれ手禁止





1. 据え付け時

 警告			
屋外で使用しない 雨水のかかる場所で使用すると 火災や感電・漏電の原因	 水ぬれ禁止	湿気の多い所や、水のかかり やすい場所に据え付けない 絶縁低下から漏電・感電の原因	 水ぬれ禁止
電源は専用の单相100Vコンセント を使用し、電源コードは途中で接続 したり延長コードの使用、タコ足配線 をしない 火災や感電・発熱の原因	 禁止	アース工事をする アース線はガス管・水道管・避雷針・ 電話のアース線には接続しない アースが不完全な場合、感電の原因 (第2種電気工事士によるD種接地 工事が必要)	 アース接続
電源コードを踏みつけたり、 傷つきがないか確認する 漏電や断器作動・火災の 原因	 確認する	据え付けは製品質量に十分 耐える所に確実に据え付ける 強度不足や取り付けが不完全な場合、 製品の転倒・落下によるケガの原因	 確実に据え付ける
据え付けは、お買い上げの代理店 または設置業者に依頼する ご自分で据え付け工事をされ、不備が あると火災や感電・水漏れの原因	 依頼する		
 注意			
床面は丈夫で平らな所に水平 になるように据え付け、転倒 防止の処置をする 据え付けに不備があると水漏れ、 転倒・落下によるケガなどの原因	 水平に据え付ける		

2. 使用時

 警告			
製品に直接水をかけない 漏電・感電の原因	 水ぬれ禁止	揮発性・引火性のあるものは 庫内に入れない 爆発や火災の原因	 禁止
可燃性のスプレーを近くで 使用したり、可燃物を 置かない スイッチの火花などに引火し、 発火の原因	 禁止	電源コードを傷つけたり、加工 したり、無理に曲げたり、引張っ たり、たばねたりしない 電源コードが破損し、火災・ 感電の原因	 禁止
電源コードに重いものをのせたり 挟み込んだりしない 電源コードが破損し、火災・ 感電の原因	 禁止	電源プラグはコードを引っ張って 抜かない 電源コードが破損し、火災・ 感電の原因	 禁止
ぬれた手で電源プラグを 抜き差ししない 感電の原因	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電気部品のスイッチを 操作しない 感電の原因	 ぬれ手禁止
ホット用以外の炭酸飲料・牛乳ビン をホット棚に置かない 破裂によるケガの原因	 禁止	ホット棚加温中は棚に直接 手を触れない やけどの原因	 接触禁止
電源プラグは、がたのないように 刃の根元まで確実に差し込む 接続が不完全の場合、火災の原因	 根元まで差し込む	電源プラグ刃のほこりを 定期的に取り 絶縁不良により、火災の原因	 ほこりを取る
漏電しゃ断器は定期的に 動作を確認する 漏電しゃ断器を故障したまま使用 すると、漏電のときに作動せず 火災・感電の原因	 動作を確認する	漏電しゃ断器が作動した場合、 代理店またはサービス担当店に 相談する 無理な電源の復帰を行なうと 火災・感電の原因	 相談する
異常時は運転を停止して電源 プラグを抜くか、元電源を切る 異常のまま運転すると、火災・ 感電の原因	 電源を切る	掃除をするときや整備・点検の ときは必ず電源プラグを抜く 感電・ファンによるケガの原因	 電源プラグを抜く
 注意			
製品の上に乗らない 転倒・破損・落下による ケガの原因	 禁止	製品の上には重量物や 水を入れた容器を置かない 落下によるケガの原因 こぼれた水により電気部品の 絶縁が悪くなり、漏電の原因	 禁止

安全のために必ず守ること

 注意			
<p>棚には許容質量以上の物を載せたり投げ入れたりしない 棚落下によるケガの原因</p>		<p>棚を引き出したまま寄りかかったり、つかまったりしない 転倒・ケガの原因</p>	
<p>複数の棚を同時に引き出さない 転倒・ケガの原因</p>		<p>フィルター清掃のときにガスクーラのフィンに直接手を触れない ケガの原因</p>	
<p>棚の取り付けは正しく確実にセットする 陳列棚落下によるケガの原因</p>		<p>棚ガードをセットして商品を陳列する 商品落下によるケガの原因</p>	
	確実にセットする		棚ガードをセットする

3. 移設・保管時

 警告			
<p>専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造をしない 分解、修理・改造に不備があると火災・感電・水漏れ・ケガの原因</p>		<p>移設は代理店または、専門業者に依頼する 据え付けに不備があると火災・感電・水漏れ・ケガの原因</p>	
	分解禁止		依頼する
 注意			
<p>長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所には保管しない 再使用の時に絶縁低下から漏電・感電の原因</p>		<p>長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気を十分拭き取った後、良く乾燥する 製品のサビや腐食による水漏れの原因</p>	
	水ぬれ禁止		乾燥する
<p>長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜く ほこりがたまって発熱・発火の原因</p>		<p>製品を移動する時は、棚の固定具を取り付け 商品は取り出す 落下によるケガの原因</p>	
	電源プラグを抜く		指示を守る
<p>製品を移動する時は、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを傷つけないように移動する コードの破損により、感電・発火の原因</p>		<p>製品を移動する時は、蒸発皿・オーバーフロータンクの排水をする 水漏れや水の飛散による漏電・感電の原因</p>	
	傷つけない		排水する
<p>製品を移動する時は、ガラス部分には力を加えない 破損によるケガの原因</p>		<p>製品を移動する時は、転倒に気をつける 転倒によるケガの原因</p>	
	力を加えない		転倒に気をつける

据え付け

1. 据付場所の選定

1) 環境条件

	コールド運転時	ホット運転時
温度	27℃以下	15℃以上
湿度	60%以下	
風速	0.2m/s以下	

- この表の範囲を外れると冷却性能や加温性能の低下の原因になります。
- 周囲温度が32℃以上（夜間、空調運転を停止した時等）になると、保護装置により、クーラーの運転が停止することがあります。

2) 風のあたらないところ

- 空調ダクト、換気扇の近く、店の出入口付近など 風の影響を受ける場所に据え付けると、冷却性能・加温性能・ドレン蒸発性能低下の原因になります。

3) 熱気から離れたところ

- 近くに熱源のあるところ、直射日光のあたるところに据え付けると、冷却性能低下の原因になります。

4) 左右10cm以上、天井50cm以上 すきまをあけること

- 吸気・排気スペースを確保し、冷却性能低下を防ぎます。

2. 調整

水平になるように据え付け

- 吸入口の中央部に水準器を置き、前後左右の水平を出して据え付けてください。
水平が出ていないと蒸発皿・オーバフロータンクから水がこぼれ水漏れの原因になります。

3. 電源

1) アースを取付ける

- 必ずD種接地（アース）工事を実施してご使用ください。
アースが不完全な場合、感電の原因になります。

2) 電源コードを踏み付けたり、傷ついていないか確認する

- 漏電しゃ断器作動、又は火災の原因になります。

3) 電源を入れる

- 電源コードは必ずクーラー専用の単相100Vコンセント（許容電流15A以上）に接続してください。

お知らせ

アースは第2種電気工事士によるD種接地工事が必要です。
お買い上げの代理店、または電気工事店にご依頼ください。

アース接続をしてはいけないところ

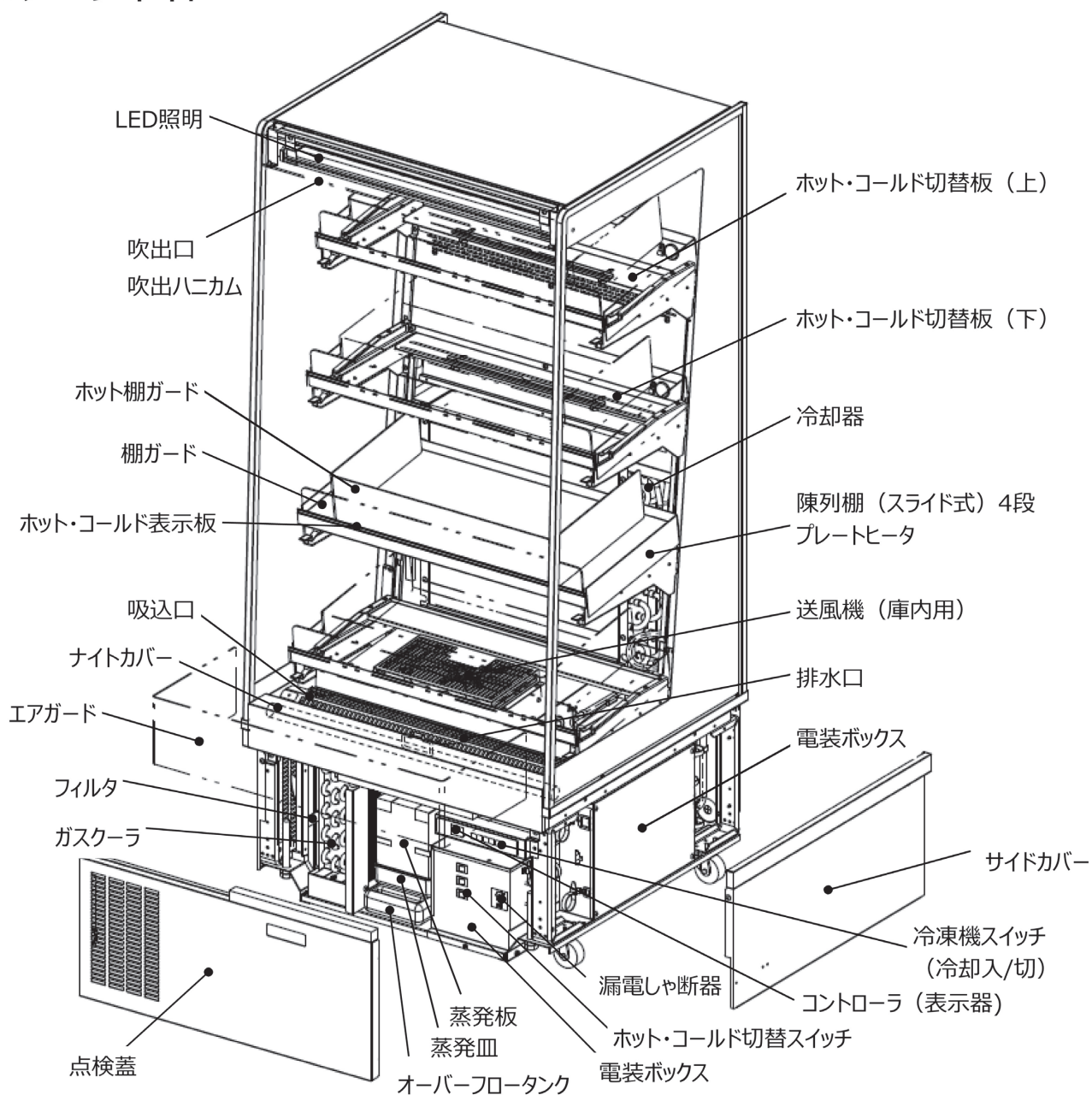
- 水道管・ガス管（感電・爆発の危険）
- 電話線・避雷針のアース（落雷のとき危険）

警告

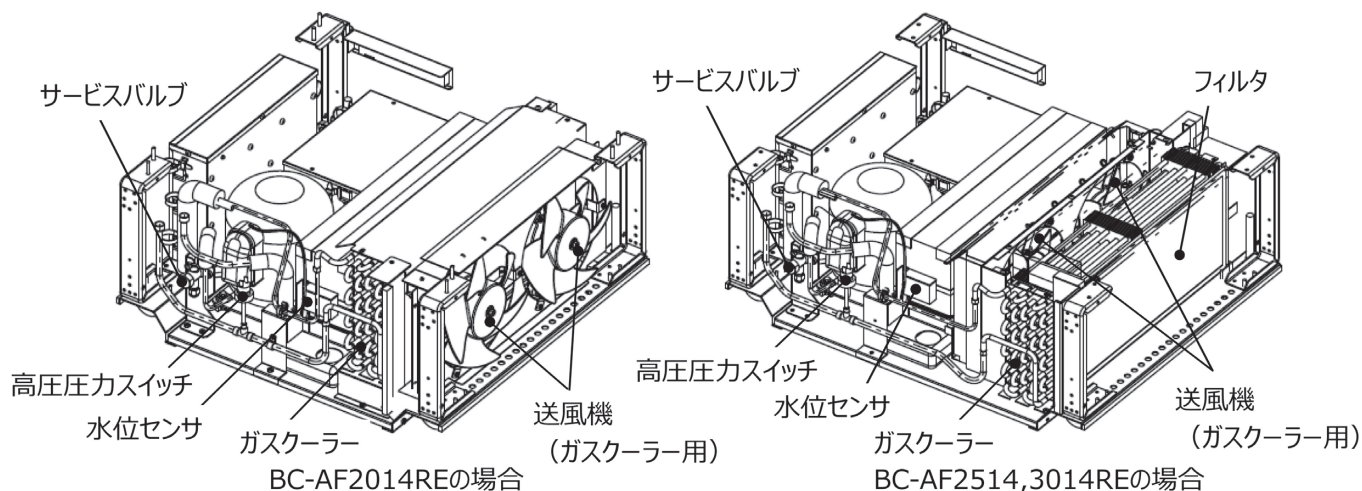
電源は専用の単相100Vコンセントを使用し、電源コードは途中で接続したり延長コードの使用、タコ足配線をしない
火災や感電・発熱の原因

各部のなまえとはたらき

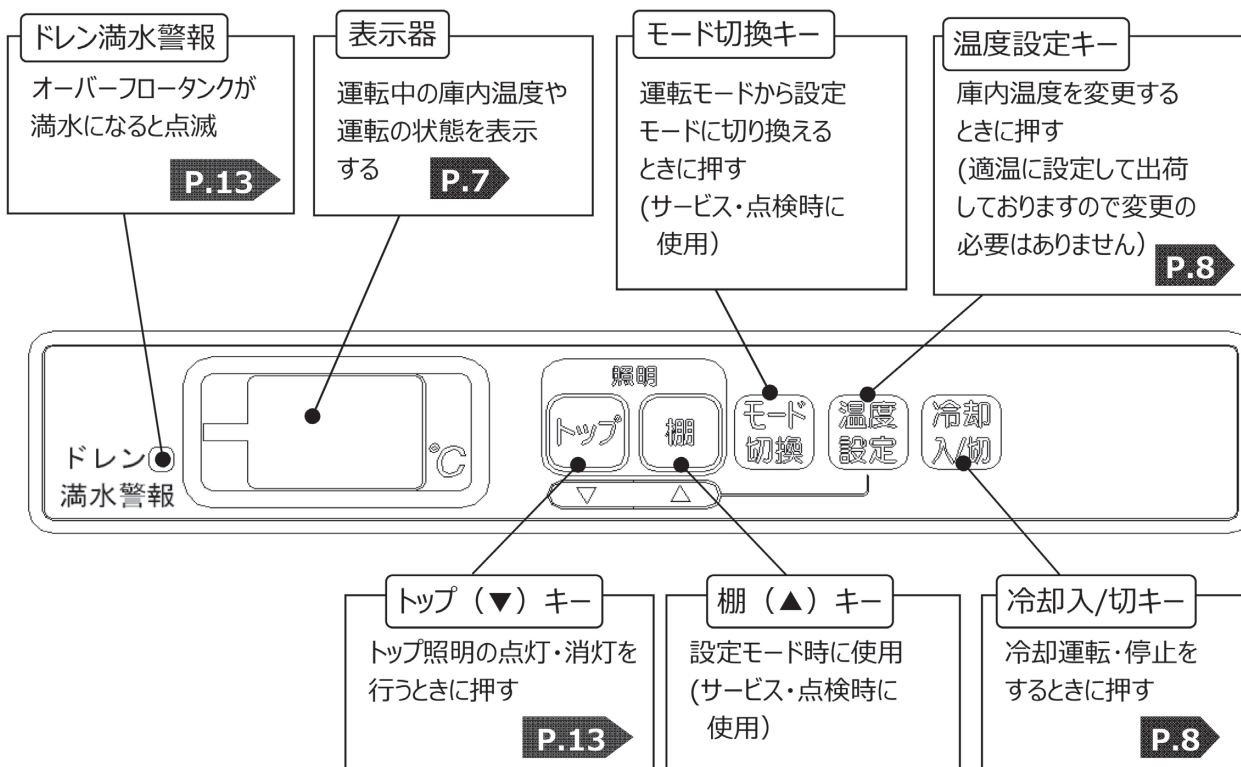
1.クーラ本体



2.機械室



3.コントローラ



以下の運転状態を表示器に表示します


表示	表示内容	運転状態
	バーバー表示	冷却運転停止中
	庫内温度表示 (図は5℃の場合) オールコールド・ホット&コールド運転中は コールド部の庫内温度が表示されます	冷却運転中
	エイチ表示	オールホット運転中
	デーエフ表示	除霜運転中
	ピーデー表示	除霜運転後の急冷中
	庫内温度と異常表示の交互点滅	異常警告表示
	庫内温度点滅表示 点滅周期 3.0秒点灯/0.5秒消灯	異常警告表示
	庫内温度点滅表示 点滅周期 0.5秒点灯/0.5秒消灯	除霜禁止モード

ご使用方法

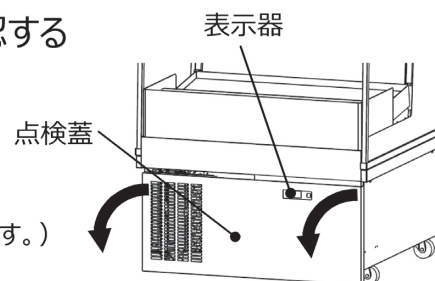
1. 冷却運転を開始する

- ① クーラー専用の単相100V電源が入っていることを確認する

- ② 表示器に  が表示されていることを確認する

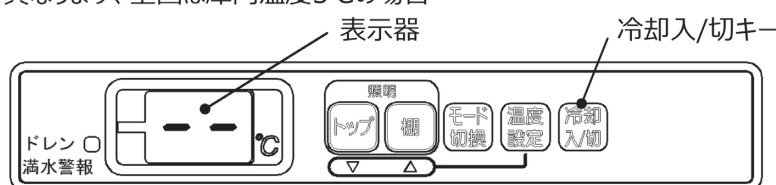
- ③ 点検蓋を取り外し、コントローラの  を 3秒以上押す

● 運転開始します。(圧縮機は停止保持時間3分経過後に動き始めます。)



- ④ 表示器が庫内温度表示  に変わったことを確認する


● 表示される温度は庫内の温度によって異なります、上図は庫内温度5°Cの場合



2. 冷却運転を停止する

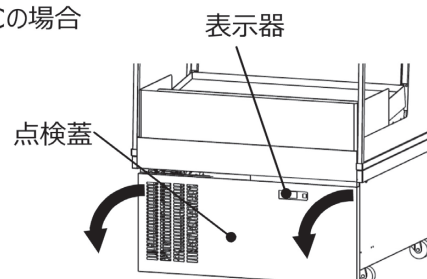
- ① 表示器に庫内温度表示  が表示されていることを確認する

● 表示される温度は庫内の温度によって異なります、上図は庫内温度5°Cの場合

- ② 点検蓋を取り外し、コントローラの  を 3秒以上押す

- ③ 表示器が  に変わったことを確認する

● 圧縮機等の保護のため冷却運転停止後3分経過しないと運転しません
停止後3分以内に運転を再開した場合、圧縮機は3分経過後に動きます。



3. 庫内温度設定について

適温にセットして出荷しておりますので、温度設定変更の必要はありません

4. 除霜運転について

冷却器の霜取りのため、周期的に自動で除霜運転をします

- 除霜運転中は一時的に庫内温度が上がりますが、商品にはほとんど影響はなく異常ではありません。
- 除霜運転中は表示器に "dF (デーエフ)" が表示されます。
- 除霜運転後は庫内温度と設定温度の差が3°C以内もしくは除霜運転後1時間経過で庫内温度表示にもどります。表示器に "Pd (ピーデー)" が表示されます。

5. 陳列棚（スライド式）について

1) 陳列棚（スライド式）許容質量

● 陳列棚1枚あたりの許容質量は下記になります。

形名	質量 (kg)
BC-AF2014RE	20
BC-AF2514RE	25
BC-AF3014RE	30

⚠ 注意

棚には許容質量以上の物を
載せたり投げ入れたりしない
棚落下によるケガの原因

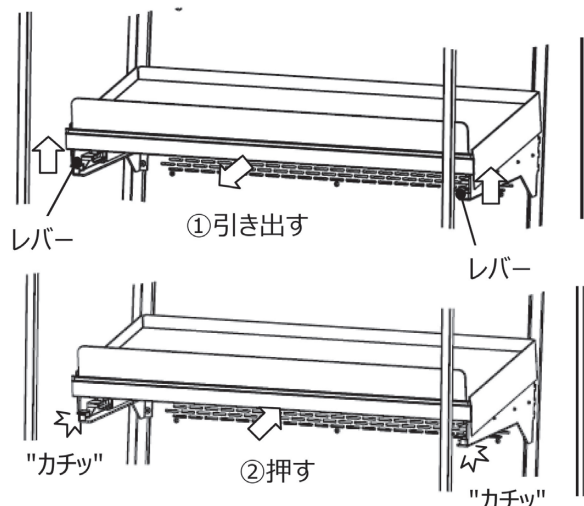
2) 陳列棚（スライド式）を引き出す

① 陳列棚を引き出す

陳列棚の両端の黒いレバーを上へ引きながら、
陳列棚の前面をもって引き出す

② 陳列棚を元の位置に戻す

黒いレバーが"カチッ"と音がするまで陳列棚を
奥に押し込む
必ず陳列棚を手前に引いて、陳列棚が
出てこないことを確認する



⚠ 注意

棚を引き出したまま寄り
かかったり、つかまったりしない
転倒・ケガの原因

⚠ 注意

複数の棚を同時に
引き出さない
転倒・ケガの原因

3) 陳列棚（スライド式）の位置を変更する

① 陳列棚の上にある商品を取り出す

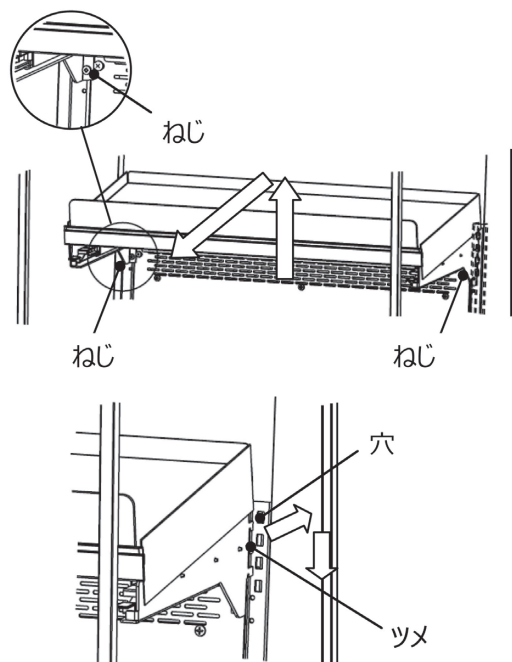
② 棚受け下部にある固定用ねじ（左右2箇所）を ドライバーで外す

● 取り外した固定具と固定用ねじは保管してください。

③ 陳列棚を一度上に持ち上げ、手前に引いて 外す

● 陳列棚（スライド式）は重いので注意してください。

④ 棚受けのツメを変更する位置の棚柱の穴に 差し込む



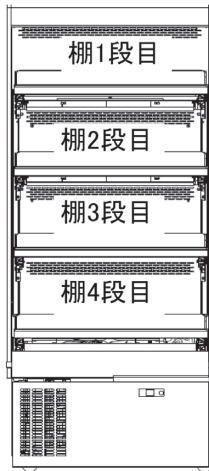
⚠ 注意

棚の取り付けは正しく
確実にセットする
陳列棚落下によるケガの原因

ご使用方法

6. ホット・コールドを切り替える

1) 運転パターン



4パターンの運転が可能です（工場出荷時はオールコールドに設定しています）

	オールコールド	ホット1&コールド3	ホット2&コールド2	オールホット
棚1段目	コールド	ホット	ホット	ホット
棚2段目	コールド	コールド	ホット	ホット
棚3段目	コールド	コールド	コールド	ホット
棚4段目	コールド	コールド	コールド	ホット



警告

ホット棚加熱中は棚に直接手を触れない
やけどの原因



警告

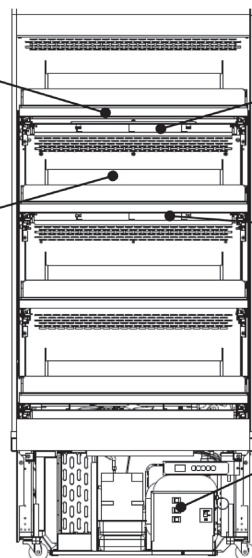
ホット用以外の炭酸飲料・牛乳ビン
ホット棚に置かない
破裂によるケガの原因

2) ホット・コールド切り替え

●工場出荷時はオールコールドに設定しております、下図の箇所を操作してホット・コールドを切り替えてください。

①ホット・コールド表示板
棚の状態がホット・コールドであることを表示する

③ホット棚ガード
商品を均一に温めるため、外気影響を遮断する

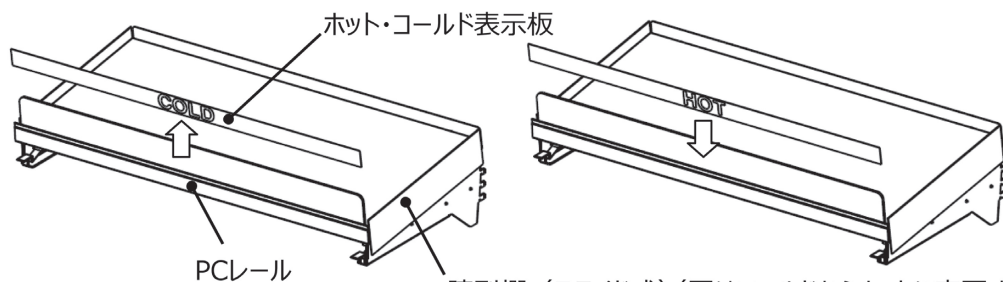


②ホット・コールド切替板（上）
ホット1&コールド3運転のときに
ホット運転の陳列棚に冷たい風が
あたらないよう風路を遮断する

②ホット・コールド切替板（下）
ホット2&コールド2運転のときに
ホット運転の陳列棚に冷たい風が
あたらないよう風路を遮断する

④ホット・コールド切替スイッチ
棚ヒータの入切をする

① 陳列棚前面のPCLレール内からホット・コールド表示板を抜き取り、表示を変更する



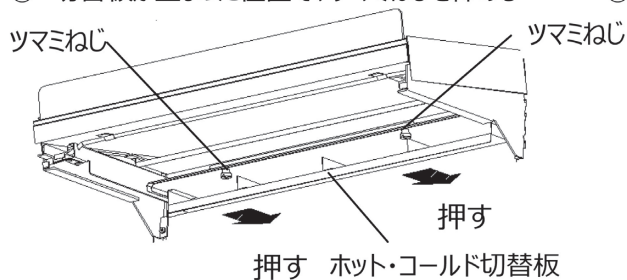
陳列棚（スライド式）（図はコールドからホットに変更する場合）

② ホット・コールド切替板を運転パターンに応じて操作する

ホットコールド切替板操作方法

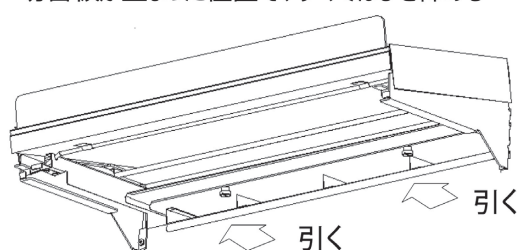
●冷たい風を遮断する場合（ホット運転時）

- ① ツマミねじ（左右両側）をゆるめる
- ② ツマミねじ（左右両側）を持ったまま、切替板を奥へ止まるまで押す
- ③ 切替板が止まった位置で、ツマミねじを締める



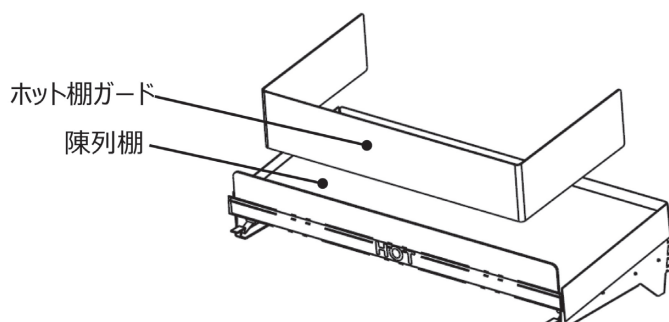
●冷たい風を通風する場合（コールド運転時）

- ① ツマミねじ（左右両側）をゆるめる
- ② ツマミねじ（左右両側）を持ったまま、切替板を手前に止まるまで引く
- ③ 切替板が止まった位置で、ツマミねじを締める



オールコールド	ホット1&コールド3	ホット2&コールド2・オールホット
<p>ホット・コールド切替板（上） 引く 引く ホット・コールド切替板（下）</p>	<p>押す 引く</p>	<p>押す 押す</p>

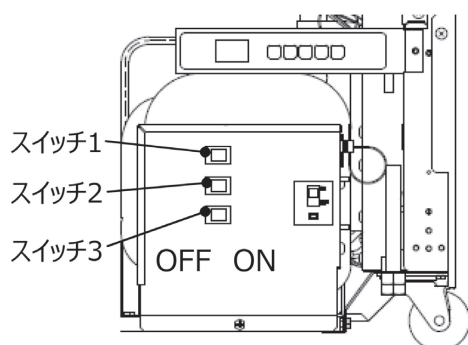
③ ホット運転の陳列棚にホット棚ガードを取り付ける



お願い

商品を均一に温めるためにホット棚ガードを取り付けてください。

④ 点検蓋を外し、ホット・コールド切替スイッチを運転パターンに応じて切替える



	オールコールド	ホット1&コールド3	ホット2&コールド2	オールホット
スイッチ1	OFF	ON	ON	ON
スイッチ2	OFF	OFF	ON	ON
スイッチ3	OFF	OFF	OFF	ON

オールホットに切り替えた時に圧縮機とファンが停止しますが、故障ではありません

ご使用方法

7. 商品を入れる

飲料の展示販売用としてのみ使用し、医薬品・食品の保存には使用しないでください。
目的以外の用途で使用されますと保存品の品質低下・製品の腐食の原因になります。

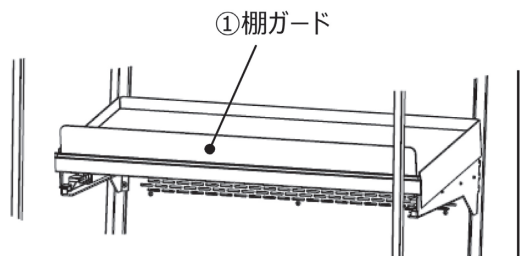
1) コールド運転時

- ① 陳列棚に棚ガードがついていることを確認する



注意

棚ガードをセットして商品を陳列する
商品落下によるケガの原因

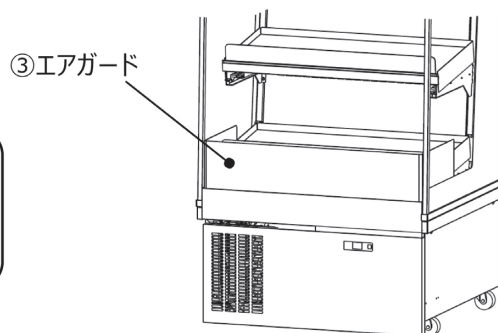


- ② 約1時間運転し、庫内が冷えてから商品を入れる

- ③ エアガードを取り付ける

お願い

- 商品を均一に冷やすためにエアガードを取り付けてください。
- 商品品質保持のため、先入れ先出しをしてください。
- 商品は立てて入れてください。



2) ホット運転時

- ① 運転パターンに合わせてホット・コールドを切り替える **P.10**

- ② ホット運転の棚にホット棚ガードをセットする
- ホット棚ガードは棚中央にセットしてください

- ③ 加温可能な商品を入れる

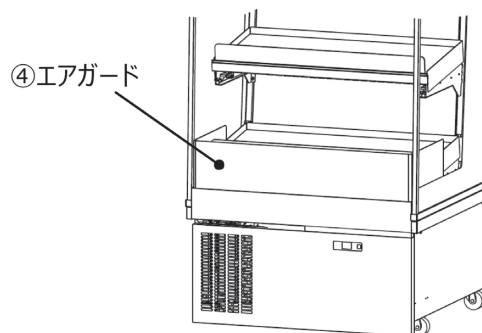
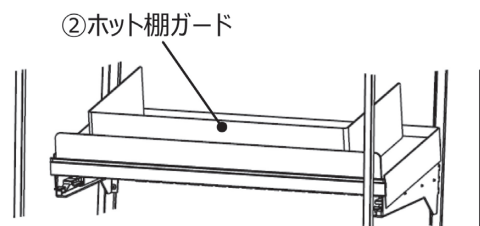
加温可能な商品

- ホット用のペットボトル（キャップがオレンジ色のもの）
- 缶入り飲料（ホット用以外の炭酸飲料はのぞく）

- ④ エアガードを取り付ける

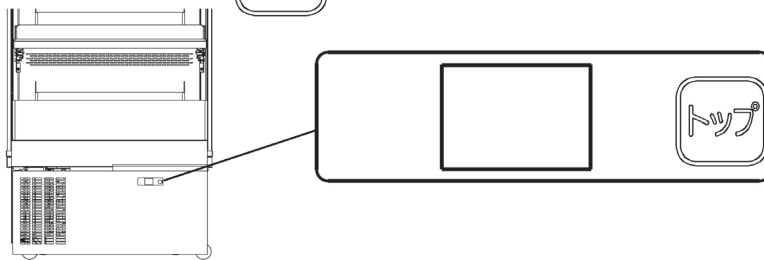
お願い

- 周囲温度が15℃以上になるよう調整してください。
- 商品を均一に温めるため、ホット棚ガード、エアガードを取り付けてください。
- 商品品質保持のため、先入れ先出しをしてください。
- 商品は立てて入れてください。



8. 照明を点灯・消灯する

右下のコントローラ  を押す



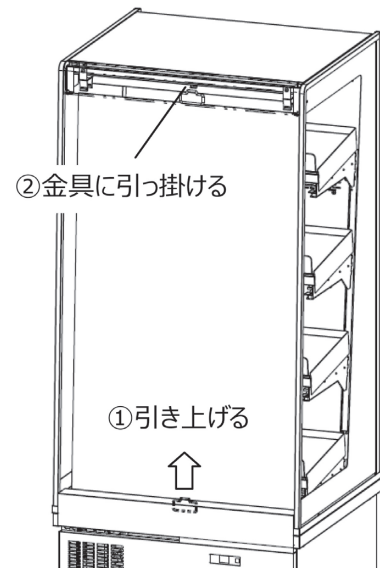
9. ナイトカバーについて

閉店時や休店時にご使用頂く事で節電になります

- ① ナイトカバーの取っ手を持ち、引き上げる
- ② POP内部中央にある金具に取っ手を引っ掛ける

お願い

ナイトカバーを収納する際には、途中で手を離さず必ず最後まで取っ手を持って収納してください。途中で離すと破損の原因になります。



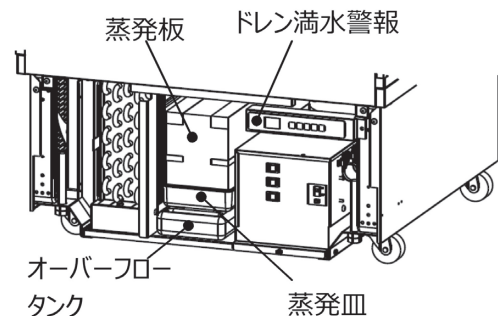
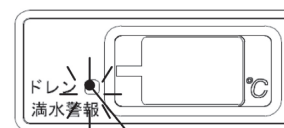
10. ドレン水強制蒸発装置

ドレン満水警報について

環境条件によってはドレン水を蒸発しきれず、オーバーフロータンクにドレン水がたまる場合があります。一定の水位に達した際に、コントローラのドレン満水警報が点滅してお知らせしますので、以下の手順で水を捨ててください（水を捨てることによってドレン満水警報は消灯します）。

●そのままご使用になりますと、蒸発皿、オーバーフロータンクから水があふれ床を濡らす原因になります。

- ① 点検蓋を取り外す
- ② 蒸発皿を前に引き出し、たまった水を捨てる
●蒸発皿は水洗いをし、乾燥してください
- ③ オーバーフロータンクを前に引き出し、たまった水を捨てる
●オーバーフロータンクは水洗いをし、乾燥してください
- ④ 蒸発皿とオーバーフロータンクを元に戻し、点検蓋を取り付ける



お願い

頻繁に警告表示が表示される場合は、蒸発板の性能が低下していますので、蒸発板のお手入れをしてください。それでも良くならない場合は、新しい蒸発板に交換してください。

P.15

お手入れと点検

製品を長く・清潔にご使用頂くために定期的にお手入れをしてください

1. お手入れの前に

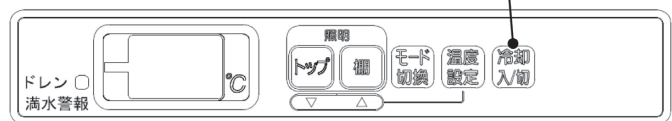
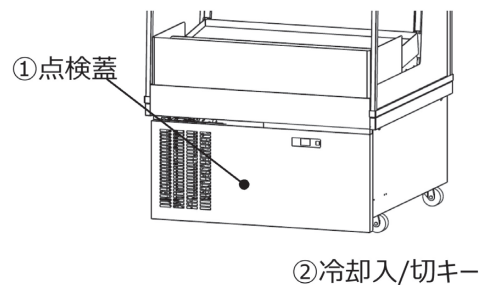
お手入れをするときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください

① 点検蓋を取り外す

② コントローラの を3秒以上

押して冷却運転を停止する

③ 電源プラグをコンセントから抜く



お手入れが終わりましたら、電源プラグのほこりを取り除き、根元まで確実に差し込んでください。
電源プラグを差し込んだ後、冷却運転を開始し点検蓋を取り付けてください。

- 圧縮機等の保護のため冷却運転停止後3分経過しないと運転しません。停止後3分以内に運転を再開した場合、圧縮機は3分経過後に動きます。

警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因

2. お手入れのしかた

お手入れをするときに下記のものを使用しないでください

傷つき・腐食・変色・変形の原因になります

- 台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- スチールタワシ・タワシ
- 熱湯・酸

警告

製品に直接水をかけない
漏電・感電の原因

1) 外装・庫内・ガラス

- 乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 落ちにくい汚れはうすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませたやわらかい布で拭いたあと、水を含ませたやわらかい布で拭きとってください。
- 乳製品類などをこぼした場合はすみやかに拭きとってください。
排水路のつまりの原因になります

2) 陳列棚

うすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませたやわらかい布で拭いたあと、水を含ませたやわらかい布で拭きとってください。

3) フィルター

お手入れの目安：月に1回

ほこりがたまった状態で運転を続けると、冷えが悪くなったり、電気代が増える原因になります。

- ① お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く

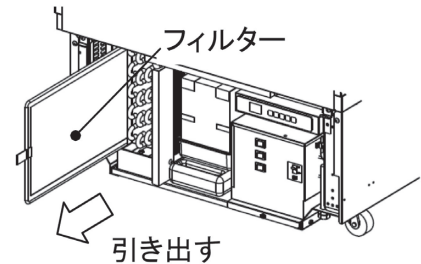
P.14

- ② フィルターを引き出してほこりを良く取り除く

● 掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。

- ③ フィルターを元の位置に戻す

- ④ 逆手順で冷却運転を開始する



注意

フィルター清掃のときにガスクーラのフィンに直接手を触れないケガの原因

4) 蒸発板

お手入れの目安：半年に1回

汚れが付着していると、蒸発性能低下による水漏れの原因になります。

- ① お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く

P.14

- ② 蒸発皿を引き出し、蒸発板を取り出す

● 蒸発皿は水洗いをし、乾燥してください。

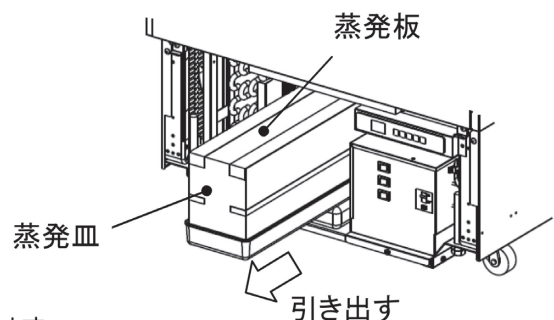
- ③ 台所用中性洗剤を濃度5%に薄めた液に30秒ほど浸漬する

● 蒸発板はていねいにあつかってください。

- ④ 汚れと洗剤をよく洗い流す

● 洗剤分が残っていると蒸発板のフレームのさびの原因になります。

- ⑤ 逆手順で蒸発板を戻し、冷却運転を開始する



蒸発板の交換について

蒸発板は消耗品です、2年を目安に交換してください。

環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。

(粉塵・油分の多い環境や温度・湿度の高い環境など)

蒸発板は弊社代理店にご用命ください。

お手入れと点検

5) 電源プラグ

お手入れの目安：半年に1回

ほこりがたまったままご使用されますと、トラッキングによる発火・発煙の原因になります

- ① お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く **P.14**
- ② 電源プラグや刃のほこりを良く取り除く
- ③ 電源プラグの刃をコンセントの根元まで確実に差し込む

6) 吹出ハニカム

お手入れの目安：年に1回

汚れが付着していると、冷却性能低下の原因になります

商品にほこりがつかないように処置をした上で、掃除機で軽く吸いとりか、ブラシで汚れを取り除いてください。

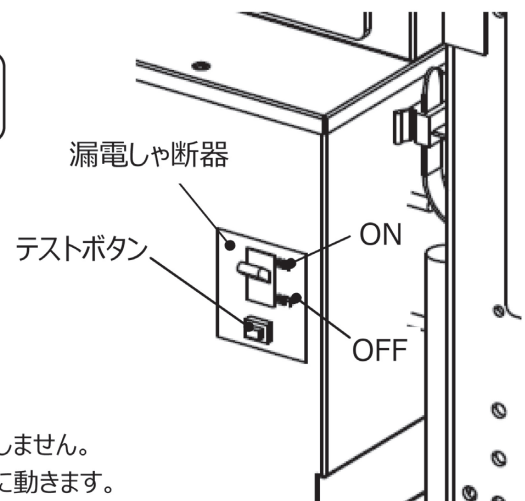
3.点検のしかた

1) 漏電しゃ断器の点検

点検の目安：月に1回

故障した状態でご使用されますと、感電の原因になります

- ① 点検蓋を取り外す
- ② 漏電しゃ断器のテストボタンを押す
 - 照明が消え、冷凍機が停止し、レバーが「OFF」になります。
- ③ 動作確認後、3分おいてから漏電しゃ断器のレバーの位置を「OFF」から「ON」にする
 - 圧縮機等の保護のため冷却運転停止後3分経過しないと運転しません。停止後3分以内に運転を再開した場合、圧縮機は3分経過後に動きます。



通常運転時に漏電しゃ断器が作動した場合

電源プラグをコンセントから抜き、商品を他のクーラなどに移すなどの処置をした上で、最寄りのコカ・コーラボトラーまたは、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別添)へご連絡下さい

- 雷などの外部要因により作動することがありますが、故障ではありません。レバーの位置を「ON」にして下さい。

4.長期間ご使用にならない場合

- 庫内の商品を全部取り出し、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 庫内はきれいに清掃し、水気を十分拭き取った後、良く乾燥してください。
乾燥が不十分だと、カビ、におい発生の原因および製品のサビ、腐食による水漏れの原因になります。
- 水のかかる場所や湿気の多い所には保管しないでください。
製品の腐食や劣化、再使用の時に絶縁低下から漏電・感電の原因になります。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に以下のことをお調べください。

それでも不具合がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のクーラーに移す等の処置をした上で、最寄りのコカ・コーラボトラーまたは、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別添）へご連絡ください。

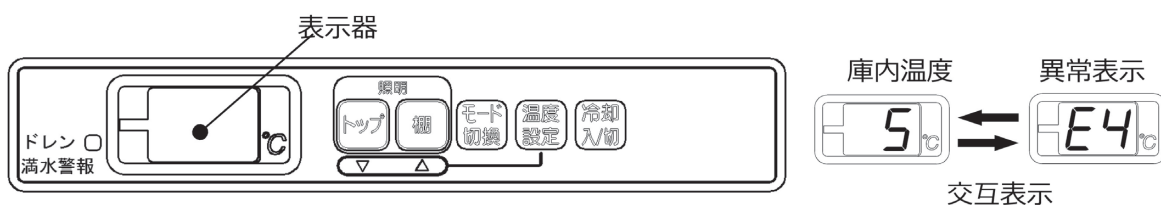
症状	点検項目	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ① 停電ではありませんか ② お店の電源ヒューズや配線用しゃ断器が切れていませんか ③ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか ④ 漏電しゃ断器が「OFF」になっていませんか ⑤ 冷却入/切キーが「切」になっていませんか ⑥ 除霜運転中ではありませんか 	<ul style="list-style-type: none"> ① 停電解消までお待ち下さい 停電解消ののち運転を再開します ② お店の電源ヒューズや配線用しゃ断器をご確認ください ③ 電源プラグのほこりを取り除き コンセントに差し込んでください P.16 ④ 漏電しゃ断器を「ON」にしてください ⑤ 冷却入/切キーを3秒以上押して 「入」にしてください P.8 ⑥ 除霜運転完了までお待ち下さい P.8
よく冷えない	<ul style="list-style-type: none"> ① 空調ダクト・換気扇の近く、お店の出入口付近など、クーラーに風が あたる場所に据え付けていませんか ② 周囲温度・湿度が高くないですか ③ 冷却入/切キーが「切」になって いませんか ④ 冷気の吹出口・吸込口を塞いで いませんか ⑤ フィルターが目詰りしていませんか ⑥ 機械室の吸気・排気部分を塞いで いませんか ⑦ ホット・コールドの切替操作は 適切ですか 	<ul style="list-style-type: none"> ① エアカーテンの性能低下につながるため 風速0.2m/s以下となるように周囲 環境を調整してください P.5 ② 周囲温度が27℃60%以下となる ように周囲環境を調整してください P.5 ③ 冷却入/切キーを3秒以上押して 「入」にしてください P.8 ④ 冷気の吹出口・吸込口は商品などで 塞がないでください P.5 ⑤ フィルターのお手入れをしてください P.15 ⑥ 機械室の吸気・排気部分から10cm 以上の空間を確保してください P.5 ⑦ ホット・コールドの切り替えを適切に 行なってください P.10
よく温まらない	<ul style="list-style-type: none"> ① 商品が傾いていたり、横になって いませんか ② 周囲温度が低くありませんか ③ ホット・コールドの切替操作は 適切ですか ④ ホット棚ガード、エアガードを 取り付けていますか 	<ul style="list-style-type: none"> ① 商品を立てて並べてください P.12 ② 周囲温度が15℃以上となるように 周囲環境を調整してください P.5 ⑦ ホット・コールドの切り替えを適切に 行なってください P.10 ④ ホット棚ガード、エアガードを取り付けて ください P.12

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	点検項目	対処方法
音がうるさい	① 床がしっかりしたところに据え付けていますか ② クーラーにガタつきはありませんか ③ クーラーが壁や物などに当たっていませんか	① 水平で床の丈夫な場所に据え付けてください ② 前側2本のアジャストボルトで調整してください ③ クーラーの周囲に壁や物などがあたらないように据え付け位置を調整してください
照明がつかない	① トップ（▼）キーが「切」になっていませんか	① トップ（▼）キーを1度押して「入」にしてください


P.13

下記の異常表示がコントローラ表示器に庫内温度表示と交互表示した場合は、対処方法に従い異常表示を解除してください



異常表示	異常内容	推定原因	対処方法
E4	圧縮機高圧異常	・機械室の通風量不足	・機械室の吸気・排気部分から10cm以上の空間を確保してください P.5
E5	吐出管高温異常	・フィルター目詰り	・フィルターのお手入れをしてください P.15

異常表示解除のしかた

- ① 点検蓋を取り外す
- ② コントローラの  を3秒以上押して冷却運転を停止する
- ③ 電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 対処方法に従い処置をする
- ⑤ 逆手順で冷却運転を開始する

お願い

以下の異常表示が表示されたときは電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のクーラーに移す等の処置をした上で、故障の状況と表示部の英数字を最寄りのコカ・コーラボトラーまたは、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別添）へご連絡ください。

異常表示一覧		
「庫内温度表示」点滅（点滅周期 3.0秒点灯/0.5秒消灯）※		
A1（エーイチ）	E8（イーエフ）	F1（エフ イチ）
A2（エーニ）	Ed（イーデー）	F2（エフ ニ）

※ 「庫内温度表示」が 0.5秒点灯/0.5秒消灯の点滅周期のときは除霜禁止モード設定のため、異常ではありません。

アフターサービス

修理をご依頼されるときは、ご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のクーラーに移す等の処置をした上で、最寄りのコカ・コーラボトラーまたは、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別添）へご連絡ください。

●ご連絡頂きたい内容

- 品名 三菱エア・カーテンタイプクーラー（ノンフロン）
※ノンフロンであることをお伝えください
- 形名（庫内機種名板に記載）
- 製造番号（庫内機種名板 WSから始まる番号）
- 不具合の内容（できるだけ具体的に）
- 設置年月日
- 設置場所のご住所
- お名前・電話番号

●修理料金は

- 技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。
- ・技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - ・部品代・・・修理に使用した部品代金です。
 - ・出張料・・・製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。
- 破棄について
製品の廃棄は専門業者に依頼してください。

仕 様

形名		BC-AF2014RE	BC-AF2514RE	BC-AF3014RE
項目				
使用温度	℃	コールド 5 ~ 10, ホット 50 ~ 60		
電源	-	単相100V		
本 体	外形寸法	高さ mm 1495		
		幅 mm 650	750	900
		奥行 mm 600		
有効内容積	L	177	204	246
陳列面積	m ²	0.68	0.78	0.94
外装	-	表面処理鋼板ポリエステル焼付塗装		
内装	-	表面処理鋼板ポリエステル焼付塗装		
断熱材	-	ウレタン注入発泡		
陳列棚	段	4		
圧縮機	形式	全密閉形 (レシプロ)		
	呼称出力	kW 0.5		
冷媒	種類	R744		
	冷媒封入量	g 660	720	
	制御方式	電子式膨張弁		
冷却器形式	-	クロスフィン (強制通風式)		
ガスクーラ形式	-	クロスフィン (強制通風式)		
温度制御	-	マイコン制御		
除霜方式	-	オフサイクル方式		
付属品	-	ドレン蒸発装置、棚ガード、プライスカードレール、エアガード、ホット棚ガード		
製品質量	kg	131	143	152

品質向上のため一部仕様が変更することがあります


三菱電機株式会社
三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号 (三菱電機 (株) 冷熱システム製作所 (内))

ES79D234H01